

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	1人	10人

前回の改善計画
利用者担当者を決めて、アセスメントし、チェック表に記録した物を管理者に報告し、ミーティングで全職員に周知し、必要があればケアプラン更新時に内容を変更する。
前回の改善計画に対する取組み結果
○他職員との情報共有をし、支援することができた ○独居の利用者の情報収集が困難で、家族と会うことが少なくなったため話を聞くことができてない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	6人	3人	0人	10人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	9人	0人	0人	10人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人	7人	1人	0人	10人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0人	10人	0人	0人	0人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○職員間での情報共有ができています。 ○サービス利用時にご利用者への聞き取りをしており困りごと等を記録に残しているため。また利用前の簡易ミーティングで職員間の共有、アセスメントシートが閲覧されている。 ○声かけやレクリエーションを行っている。人間関係作りに重点を置いている。 ○利用者への声掛けや関係作りができていた。 ○御家族からの依頼に対応できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○利用者全員に対しての意見交換ができていない、困りごとが既にある利用者優先になりがちのため。 ○改善計画の履行ができていない、担当者がいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○新規利用者の情報は、申し送りや個人ファイルで職員と共有し、利用者の利用目的を理解した上で支援ができる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年11月28日(10:00～11:00)
-----	-------------------------

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー	管理者含む10名
------	----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	聞き取りしたことをFTに記録し、申し送りとして職員に周知する。利用者シートに記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果	○聞き取りした内容を記録、共有している。 ○利用者が求めるものに応じて計画を変更している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	7人	2人	0人	10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	8人	1人	0人	10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	8人	2人	0人	10人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	5人	3人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○利用者とのコミュニケーションをとり、支援に繋がられている。利用者それぞれが求めていること、気持ちに寄り添ったケアをしているため。</p> <p>○他職員とはグループlineや申し送りで、情報共有ができています。</p> <p>○状態の変化がある利用者については、家族と相談しサービスの変更を行っている。</p> <p>○利用者が意欲的に過ごせるようにレクリエーションを行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○「～したい」という目標がわかっている利用者は一部であると思われる。本人・御家族の聞き取りが十分でないため。</p> <p>○申し送りができていなかったり、シートに書けていなかったりする。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○利用者の「したい～」を実践できるよう、利用者の言葉を聞き取り、チームで意見を出し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	1人	10人

前回の改善計画	
ご利用者の担当者がこれまでの生活(以前の生活)についても記録していく。ミーティングでのカンファレンスで発信していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
○利用者の困りごとを本人から聞いている。 ○他の職員と情報共有できている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	3人	7人	0人	10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	6人	0人	0人	10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	4人	4人	1人	10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	8人	0人	0人	10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	7人	1人	0人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○本人の状況に合わせた必要な介護が来ている。 ○変化等あれば、管理者や他の職員と情報共有し話し合いをしている。 ○利用者の嚙下力にあわせ、キザミやミキサー等で対応できている。体調や嚙下レベルを観察している。 ○アセスメント時に、これまで馴染んだことを聴きとりし発信している。利用者の気持ちを自分の視点で考えられるようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○本人のこれまでの生活を把握できていない。気持ちや変化を記録に記載されていないことがあり、聞き取りが不十分。 ○利用者の声にならない声を言語化できていない。各スタッフが観察し分析しても言語化は難しいため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○利用者の気持ちや体調の変化に気づき、チームで共有し、サービス調整していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	1人	9人 一名チェックなし

前回の改善計画	<p>自宅で過ごすために必要な地域資源を把握する。 訪問、送迎中に情報収集する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>○必要な地域資源を把握できていない。 ○家族以外との関わりは、本人の意向がないと理解しづらい。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	5人	3人	1人	10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	5人	2人	2人	10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	2人	7人	1人	10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	2人	6人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○本人の生活スタイルに合わせて支援できている。遠隔地の利用者でも近隣の方や知人の方からの連絡にも対応でき、必要であれば調整、訪問している。 ○地域のサロンなどの利用があるかなど、本人に聞き取っている。できるだけ自立した生活ができないか相談している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○民生委員や地域の資源に関しては把握しきれていない。 ○自宅の様子や近所の様子、地域の関わりなどが把握できていない。 ○職員によって、訪問、送迎の機会がなく、訪問送迎する他職員と情報共有できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○利用者の地域資源(家族・友人・町内等)を理解して、繋がりが途切れないよう支援する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	2人	10人

前回の改善計画	地域資源について把握する。 協力してもらえ地域の方々と連携していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	○ご近所や配食等、インフォーマルサービスを活用している。 ○地域の幼稚園のイベントなどに参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	3人	3人	2人	10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	1人	2人	1人	10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2人	5人	2人	1人	10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3人	4人	3人	0人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○適切にサービスの提供ができている。望まれる支援のために本人に合わせて柔軟な支援をし、必要であれば申し送りでも他職員と情報共有できている。 ○地域との連携ができている、交流のある保育園のイベントに定期的に参加している。 ○利用者のニーズに合わせて対応し、職員と情報共有できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○個別の地域の資源がわかっていない ○連携が十分でないと感じる。 ○資源について調べていない。 ○連携できる地域資源が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○インフォーマルサービスを、利用者の望む暮らしに活用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	1人	3人	10人

前回の改善計画	利用者が参加できる行事やイベントに参加する。 新たな地域資源の把握に努め、職員も一緒になって参加していく。(行事や会議への参加)
前回の改善計画に対する取組み結果	○地域の公園整備やイベントへの参加ができている。 ○地域資源は共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0人	6人	0人	4人	10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	5人	1人	4人	10人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	5人	1人	4人	10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	2人	3人	5人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○虹のそら保育園(なないろの会)に参加し、利用者が楽しい時間を過ごせている。 職員も参加できている。 ○サービス管理者会議への参加、保険更新時の同行、公園の整備等を行うため。 ○1階のグループの利用者が将棋を打ちに来てくれる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○職員は地域イベントに参加できていない。 ○時間がない、自治会などと接点がない。 ○業務担当がある為、サービス機関の会議には出たことが無い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○サービス担当者会議を実施した内容を職員と共有し、多職種連携を理解する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

7. 運営

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	3人	10人

前回の改善計画

自事業所の運営推進会議や他事業所の運営推進会議に職員やご利用者が参加出来るようにする。
利用者の家に訪問等した時に、ご近所の方で介護等のことで困っている人がいないか聞き取りをする。

前回の改善計画に対する取組み結果

○苦情があった場合はすぐに対応できている。
○会議で意見交換を行い、運営に反映できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2人	3人	3人	2人	10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6人	1人	1人	2人	10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	2人	2人	2人	10人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1人	4人	2人	3人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○ご近所で困っている方がいるか聞き取りできているが居ない。
○利用者や家族、地域の方から苦情があったときは情報を共有し改善に努めている。
○職員会への出席ができている。自分の意見を述べるため。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○近所の方からの聞き取りができていない。機会がない。運営推進会議に参加している方からは意見交換できているが、参加者以外の幅広い意見は聞けていない。
○地域と協働した取り組みが殆どできていない。地域の方との交流がもてておらず、意見交換もできていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○苦情があった時は迅速に対応し、職員と共有し振り返る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	0人	2人	10人

前回の改善計画
地域密着型サービス協会や社会福祉協議会、包括支援センター等で開催されている研修や勉強会に職員が参加出来るように管理者が案内等を職員に通知し、参加を促していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
○研修のアナウンスがなされており、研修参加できている。
○ミーティング時に研修や訓練が行われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5人	2人	2人	1人	10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	3人	1人	1人	10人
③	地域連絡会に参加していますか	3人	1人	3人	3人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	6人	0人	2人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○研修によく参加できている。
○参加の呼びかけをされており、ケアの質の向上を目指す職員が多く意欲的であるため。
○介護福祉士の資格取得の研修に参加できているため。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○研修のスケジュールや内容の発信ができていない。ファックスや電話で通知される研修も多く、職員全員が把握できていないと思われるため。
○研修に参加できていない。業務で手一杯であり、参加する時間がないため。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○職員それぞれに合った研修に参加し、質向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(10:00～11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者含む10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	0人	0人	10人

前回の改善計画	プライバシーや個人情報について研修等で学び、ご利用者の尊厳を守り、個人情報の適切な保護に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	○身体拘束や虐待を行っていない。 ○適正な個人情報の管理ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7人	3人	0人	0人	10人
②	虐待は行われていない	8人	2人	0人	0人	10人
③	プライバシーが守られている	4人	5人	1人	0人	10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	0人	5人	2人	10人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	8人	0人	0人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○ご利用者の尊厳を守っている、身体拘束・虐待に関して社内研修でよく学んでおり理解している。 ○職員間で対応が難しい利用者について話し合い、どうすればいいか考え、実行に努めている。 ○必要な方に制度を案内できている。金銭管理が難しいご利用者や御家族に成年後見制度の案内をできている。 ○適切に個人情報の管理、プライバシー保護が出来ている。研修で理解できているため。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○スピーチロックをしている。危険意識が先に立ち、つい出てしまう。 ○成年後見制度の利用をできていない。機会がない、勉強不足のため。 ○大きな声でプライバシーに関わることを喋ってしまう。大きな声でないと聞こえない利用者が多く、フロアと事務スペースが同じなため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○利用者が不快に思わないよう尊厳を守り、支援していく。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	7		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7		

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】</p> <p>○全員がきちんと自己評価されている。 ○自己評価は適切です。パート職員が多く困難なこともあります、今後も現行の取り組みを続けてください。</p>
<p>【前回の改善計画に対して意見】</p> <p>※前回の改善計画に対しての取組結果に対する意見</p> <p>○客観的に、取組結果を評価できています。取組みも適切です。</p>
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】</p> <p>※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <p>○実現可能な範囲で目標設定したとのことですが、必要にして十分な計画になっています。 ○分かりやすく達成しやすい目標になっている。取組みやすく達成感が得やすい。 ○職員が言われるように、十分、実現可能なレベルで計画されていると思う。一つ一つクリアして行けると良い。</p>
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <p>○達成しやすい計画にして達成できていく成功体験の積み重ねが、職員のモチベーションに繋がり、そこから利用者の生活の質の向上へと繋げていけるのだと思います。達成に向けての職員配置等、難しいことも多くあると思いますが、職員全員が取り組んでいけるようにしてください。</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>○利用者の、現在の利用目的をミーティング等で話し合い、楽しみの有る日常生活を支援し、運営推進会議で報告する。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 問題はありません。地域によく溶け込んでいます。今後も居心地の良い環境づくりに努めてください。
- いつ来ても季節感のある掲示物がされており、また手作りのところが素晴らしい。

【前回の改善計画】

- フロア内外の季節に合った掲示物をご利用者と一緒に作成し、飾り付け等をする。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- クリスマスツリーの事例(ツリーはあるが飾りが見当たらず、折り紙などで利用者で作ったこと)が印象的でした。「無ければ手作りする」というのは、とても良い考えだと思います。
- 利用者と一緒に掲示物を作成されており、事業所の雰囲気が良くなるうえ、利用者のリハビリもできると思う。
- いろいろなことに利用者と一緒に取り組んでいるように思います。
- 運営推進会議でのかわら版を通じ、飾りを利用者也作成されていることが分かった。
- 入口に職員の写真が貼っていて、声がかかりやすい。
- 塗り絵や書初めなど、参加して掲示している。(利用者)

【今回の改善計画】※後日記入

- 利用者が過ごしやすく、愛着が持てる環境づくりをする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		4
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 住宅街にあることから、地域での認知度は高いと思います。気軽に相談などができるよう、地域に開けた事業所であることを意識してください。
- 地域の行事に積極的に参加することで、事業所のアピールができていていると思う。
- 地域の方の「相談窓口」になっていけると良いですね。

【前回の改善計画】

- 地域行事を把握し、ご利用者や職員が、少しでも多く参加出来る様にしていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 町内会や区長と、可能な限り連携し、地域のイベント等、把握してください。にじのそら保育園との交流は、双方にとって非常に良いことだと思います。今後も継続してください。
- 地域の方(民生委員)との良い関係性が保てており、地域のイベントへの参加がしやすい状況。今後も継続してください。
- 地域交流や町内行事に参加できていて、良いと思います。今後も継続しながら増やしていけると良いですね。
- 報告を受け参加できていることがよくわかった。参加している職員が重複しているかはわからない。
- いつ来ても明るく挨拶してくれます。
- 地域の方が参加できる行事が1つでもあれば良いと思う。
- 保育園によく招待してもらい、参加させてもらっている。(利用者)

【改善計画】※後日記入

- 職員が地域の行事に参加させてもらい、事業所の活動を継続的に知ってもらう。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	1	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- No4 について、当方の認識不足で「わからない」としました。民生委員の連携などで拾い上げていければ幸いです。
- 事業所のことを知ってもらうことは難しいことだと思いますが、今後も取り組んでいってください。
- 保育園のイベントに参加させてもらっています。(利用者家族)

【前回の改善計画】

- 訪問、送迎時に地域の方に挨拶を行い、ご利用者とだんだんのことを知ってもらえるようにする。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- 挨拶に力を入れていることが伺えます。基本にして非常に重要なことなので、今後も継続してください。アウトリーチの取り組みは、包括支援センターなどと共に行って頂ければと思います。
- 利用者のご近所との関りが持てることが知れた。ご近所からのクレーム対応も早くすることで、その方との良い関係性ができたことは、事業所にとってもプラスになったことだと思う。
- 地域の方の情報は、個人のプライバシーに関わることなので、大変なこともあると思います。
- クレームを通じて、良い関係作りができています。挨拶をされて嫌な人は居ない。
- 地域のサロンに参加すると、地域の近況が分かる。(利用者)
- 利用者は、いろいろな地域から事業所に来ているので、沢山の資源があると思います。

【改善計画】※後日記入

- 地域資源を活用しながら、利用者が住み慣れた地域で生活できる取り組みをする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	1	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- No2 について、利用者の支援に対する検討がミーティングで行えており、取り組みとして良好です。
- 会議で事故内容を報告し、対策について意見を聞いている。
- 地域の方から介護について心配だという方が多く居ると聞きました。相談会など出来ると良いですね。

【前回の改善計画】

- 事故やヒヤリハットについて、前回と比較検討を行い、運営推進会議で報告し、意見やアドバイスを頂く。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ヒヤリの制度を上げていこうとする試みが伺えます。事故防止のために有効な取り組みなので、是非推進してください。
- ヒヤリや事故報告に対する対策は、都度立てられていると思う。しっかり取り組んでいるのに情報共有することが難しいため、同じような事故やヒヤリが多いのは悲しい。
- 民生委員や地域の方、利用者が参加されての意見交換ができていますと思います。
- ヒヤリハットの数を増やしていく取り組みができていますと思います。
- 運営推進会議の時に、具体的に起きた内容が分かると良いと思う。
- ヒヤリハットの意味が理解できていない職員が、アクシデントと同じレベルで考えているのではないか。啓蒙していくことが大切です。

【改善計画】※後日記入

- 包括支援センターや民生委員から相談してもらえる事業所になる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4		3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	3	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- No1 について、認識不足で申し訳ありません。防災意識が高いことが、改善計画から伺えました。
- 事業所だけでなく地域の防災訓練に参加できている。
- 地域の防災訓練を把握できていて良い。

【前回の改善計画】

- 地域の防災訓練を把握し、参加出来る様にしていく。
- 事業所内の防災訓練を行い、地域の方にも参加を募っていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- 水害リスクが高い土地です。垂直避難の手順等を徹底してください。活動は十分「コロナ後」へ移行できており良好です。
- 年間計画に準じて、定期的に訓練や情報共有をしている。
- 地域の防災訓練に参加し、不安なこと等の意見交換や今後の対策についても話せる機会があると良いですね。
- 地域の防災訓練で良かった点を、事業所でも取り入れると良いと思う。
- 消防訓練に参加した。避難場所の確認ができた。(利用者)

【改善計画】※後日記入

- 防災・災害訓練を行い、共有する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	㈱クロス・サービス	代表者	岡部 純一	法人・事業所の特徴	『出逢えてよかった』をモットーに日々取り組んでいる。事業所が一方的にスケジュールを作るのではなく、一人一人の今したい事をお聞きしながら、どのような暮らしを望まれているかを利用者・家族と一緒に考えていけるよう支援している。
事業所名	小規模多機能ホーム だんだん	管理者	上田 勝人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	2人	1人	1人	1人	10人	0人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○地域行事や防災活動に参加し、その取り組みについて運営推進会議で報告する。 (事業所自己評価をミーティングで話し合い、進捗を発信する。)	○服薬管理を事業所で行うことで、飲み忘れが無くなり在宅生活が継続できた。 ○身体拘束や虐待、プライバシー等の研修をし、日々の支援を振り返っている。 ○自己評価の意見交換。 ○金銭管理が難しくなった利用者に、「ささえる」提案、利用が始まった。	○客観的に、取組結果を評価できています。取り組みも適切です。 ○実現可能な範囲で目標設定したとのことですが、必要にして十分な計画になっています。 ○分かりやすく達成しやすい目標になっている。取り組みやすく達成感が得やすい。 ○職員が言われるように、十分、実現可能なレベルで計画されていると思う。一つ一つクリアして行けると良い。	○利用者の、現在の利用目的をミーティング等で話し合い、楽しみの有る日常生活を支援し、運営推進会議で報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	○フロア内外の季節に合った掲示物をご利用者と一緒に作成し、飾り付け等をする。	○職員の写真とコメントを入りに貼り出し、利用者や家族に職員を知ってもらおう。 ○歌本を作り、皆で歌えるようにした。 ○ホットプレートで調理し、利用者にも調理を楽しんでもらう。 ○クリスマスツリーの飾りが見当たらず、折り紙等で利用者と飾りを作り、飾る。 ○書初めの作品を飾る。	○クリスマスツリーの事例が印象的でした。「無ければ手作りする」というのは、とても良い考えだと思います。 ○利用者と一緒に掲示物を作成されており、事業所の雰囲気良くなるうえ、利用者のリハビリもできると思う。 ○いろいろなことに利用者と一緒に取り組んでいるように思います。 ○運営推進会議でのかわら版を通じ、飾りを利用者も作成されていることが分かった。 ○入口に職員の写真が貼っていて、声がかかりやすい。 ○塗り絵や書初めなど、参加して掲示している。(利用者)	○利用者が過ごしやすく、愛着が持てる環境づくりをする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>○地域行事を把握し、ご利用者や職員が、少しでも多く参加出来る様にしていく。</p>	<p>○「ちょいそこ」のパンフレットを、利用者に紹介する。 ○移動販売、水曜パン屋、金曜とくし丸。 ○にじのそら保育園の発表会や七夕などのイベントに、参加させてもらう。 ○朝生田の運動会や敬老会に参加。 ○お祭り、獅子舞や神輿が来てくれる。 ○グループホームにボランティアの三線を聞きに行く。 ○朝生田のフラワーアレンジメントに参加。</p>	<p>○町内会や区長と、可能な限り連携し、地域のイベント等、把握してください。にじのそら保育園との交流は、双方にとって非常に良いことだと思います。今後も継続してください。 ○地域の方(民生委員)との良い関係性が保てており、地域のイベントへの参加がしやすい状況。今後も継続してください。 ○地域交流や町内行事に参加できていて、良いと思います。今後も継続しながら増やしていけると良いですね。 ○報告を受け参加できていることがよくわかった。参加している職員が重複しているかはわからない。 ○いつ来ても明るく挨拶してくれます。 ○地域の方が参加できる行事が1つでもあれば良いと思う。 ○保育園によく招待してもらい、参加させてもらっている。(利用者)</p>	<p>○職員が地域の行事に参加させてもらい、事業所の活動を継続的に知ってもらう。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>○訪問、送迎時に地域の方に挨拶を行い、ご利用者とだんだんのことを知ってもらえるようにする。</p>	<p>○利用者近所のコンビニエンスストアより、利用者が困っていると連絡くれる。 ○駐車場の無い利用者のために、ご近所の方が駐車場を貸してくれる。 ○配食弁当より、不在時は連絡をくれる。 ○ゴミ出し支援。 ○利用者からの夜間のSOS「起こして欲しい・動けんかった」等の訪問。 ○トイレに行けなくなったけれど自宅で過ごしたい方へ、訪問と排便コントロール。</p>	<p>○挨拶に力を入れていることが伺えます。基本にして非常に重要なことなので、今後も継続してください。アウトリーチの取り組みは、包括支援センターなどと共に行って頂ければと思います。 ○利用者のご近所との関りが持てることが知れた。ご近所からのクレーム対応も早くすることで、その方との良い関係性ができたことだと思う。 ○地域の方の情報は、個人のプライバシーに関わることなので、大変なことだと思います。 ○クレームを通じて、良い関係作りができています。挨拶をされて嫌な人は居ない。 ○地域のサロンに参加すると、地域の近況が分かる。(利用者) ○利用者は、いろいろな地域から事業所に来ているので、沢山の資源があると思います。</p>	<p>○地域資源を活用しながら、利用者が住み慣れた地域で生活できる取り組みをする。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>事故やヒヤリハットについて、前回と比較検討を行い、運営推進会議で報告し、意見やアドバイスを頂く。</p>	<p>○ヒヤリハットや事故報告、クレーム等共有して振り返る。包括支援センターからは、他の事業所での事例等、お話しいただき、改善のヒントにさせてもらっている。 ○ヒヤリハットを増やしていく取り組みを行っている。</p>	<p>○ヒヤリの制度を上げていこうとする試みが伺えます。事故防止のために有効な取り組みなので、是非推進してください。 ○ヒヤリや事故報告に対する対策は、都度立てられていると思う。しっかり取り組めているのに情報共有することが難しいため、同じような事故やヒヤリが多いのは悲しい。 ○民生委員や地域の方、利用者が参加されている意見交換ができています。 ○ヒヤリハットの数を増やしていく取り組みができています。 ○運営推進会議の時に、具体的に起きた内容が分かると良いと思う。 ○ヒヤリハットの意味が理解できていない職員が、アクシデントと同じレベルで考えているのではないかと。啓蒙していくことが大切です。</p>	<p>○包括支援センターや民生委員から相談してもらえる事業所になる。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>○地域の防災訓練を把握し、参加出来る様にしていく。 事業所内の防災訓練を行い、地域の方にも参加を募っていく。</p>	<p>○水害・地震・火災・感染症訓練を行う。 ○他事業所との火災訓練を行う。 ○地域の災害訓練参加。</p>	<p>○水害リスクが高い土地です。垂直避難の手順等を徹底してください。活動は十分「コロナ後」へ移行できており良好です。 ○年間計画に準じて、定期的に訓練や情報共有をしている。 ○地域の防災訓練に参加し、不安なこと等の意見交換や今後の対策についても話せる機会があると良いですね。 ○地域の防災訓練で良かった点を、事業所でも取り入れると良いと思う。 ○消防訓練に参加した。避難場所の確認ができた。(利用者)</p>	<p>○防災・災害訓練を行い、共有する。</p>